

平成30年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 片岡幹夫

○ 平成30年度重要事業

事業名	第2次射水市中小企業振興計画の策定
目標	中小企業の振興や地域内経済循環、労働環境の改善等に取り組むため、関係団体の意見や「企業状況調査」、「市民アンケート調査」等を分析し、中小企業振興計画を策定します。
年度末達成状況	将来像を「地域資源を活かし 未来を切り拓く 射水の中小企業」とし、8つの基本施策と具体的な取組を定めた「第2次射水市中小企業振興計画」を策定しました。
自己評価	人材確保や創業、事業承継支援など近年の社会情勢の変化等を捉えた計画を策定しました。今後は、関係機関等と連携しながら、計画に基づき、各種施策を着実に実行していきます。

事業名	富山新港開港50周年記念事業の開催
目標	富山新港が開港50周年を迎えることから、環日本海地域などの交流・物流拠点、観光拠点としての富山新港のさらなる発展の契機、そして地域の活性化を図るため、県や関係企業等と連携し、記念式典や記念イベントを実施します。
年度末達成状況	県や関係機関と連携し、7月には記念式典、9月には新湊大橋を活用した記念イベント、さらに海上見学会や国際物流ターミナルの見学会などを実施しました。
自己評価	様々な記念事業もあり、本年度の海王丸パークの来場者は、2月末現在で、112万人を越え、過去最高の入込数となる見込みです。さらに富山新港が市民や県民の皆さんの関心を高め、物流・観光の拠点として発展するよう国や県等と連携し取り組みます。

事業名	射水産サクラマスのブランド化及び事業化の推進
目標	これまで関係機関や事業者の方々と連携し、採卵から成魚までの陸上養殖による技術の確立に取り組んできましたが、今年度は、生産量を増加するため、海上養殖試験を実施し、さらなる射水産サクラマスのブランド化、事業化の推進に取り組みます。
年度末達成状況	海上養殖試験については、現在2箇所を実施し、生産量の増加に向け取り組んでいます。また、市内の飲食店で提供できるよう「食彩しんみなど」と連携し取り組みました。
自己評価	海上養殖試験も課題を解決しながら、順調に進めることができました。生産量の増加を図るため、引き続き調査、研究するとともに、射水産サクラマスが多くの方々に認知され、提供できるよう、さらなるブランド化に取り組みます。